

令和3年1月22日

# futbol y vida

Poco a poco ...  
Poco a poco ...



コロナに負けるな!!川崎フロンターレ天皇杯優勝!!  
山梨学院が3964校の頂点へ!!

2021年 あけましておめでとうございます!!

片倉高校サッカー部 モ〜っと“志”高く、「変化」⇒「進化」を目指す!!

2021年、新春の片倉高校サッカー部のスタートは1月5日（火）からの予定でしたが、何故か緊急事態宣言が出される前に、東京都の方から「部活動禁止」という通達が出されました。昨年末から新型コロナウイルスの感染者数が急増し、大晦日には遂に千人を超えました。年明けも感染者数が増加している現状を見ると、感染拡大防止対策からこの厳命も止む無しといったところですが、学校は分散（片倉形式は珍しい）・時差登校で授業は行われ、現在、区市町村にもよりませんが中学校や一部の私立学校、神奈川県内の公立高校では、時短など制限を設けて部活動は保証されています。この違いは一体何でしょうか？

年末にしっかり積み上げてきたトレーニングの成果を更に向上させ、チーム・個人の課題に真摯に向き合い、一年間で一番厳しいトレーニングに覚悟を決めて臨む大切な時期に、今年度二回目となるチームメイトが揃ってトレーニングできないことが、子どもたちの成長にどれ程大きな影響を与えるのか、私たちも経験したことないので心配しています。

新年のスタートから出鼻を挫かれた形になりましたが、現在、子どもたちは自主トレーニングやコーチによる ZOOM トレーニングなど、現状維持できるように今後も工夫して行っています。



＜今年度素晴らしいサッカーを展開したフロンターレ＞

＜努力の人 中村憲剛選手＞

今年で 100 回目の歴史ある大会を迎えた天皇杯決勝が、元旦の新国立競技場で行われ、今年度 Jリーグチャンピオンに輝いた川崎フロンターレが三苦選手のゴールで 1-0、初優勝を飾りました。残念ながら決勝戦では出番はありませんでしたが、18年間フロンターレ一筋の中村憲剛選手がこの日で引退しました。ご存知の通り、中村選手は都立久留米高校出身で中央大学を経て、プロになりました。日本代表にまで駆け上がり、まさに努力の人!! 18年間お疲れさまでした。

## 高校サッカー選手権大会は、山梨学院が 11 年ぶり 2 回目の優勝!!

新春恒例のもうひとつのイベントである「第99回全国高校サッカー選手権大会」は、東京都代表の二校である、**関東第一高校**が二回戦進出、**堀越高校**は**ベスト 8!!**へ進出するなど、全国大会で久しぶりの好成績を収めました。来年度は更に上を目指していきたいですね。

今年の選手権地方予選では、常連校が地区大会で敗れるなど大波乱がたくさんありました。また、大会運営サイドは、大会前から新型コロナ対策に迫られ、ご苦労も多かったと思います。埼玉スタジアムで行われた準決勝・決勝戦は残念ながら無観客試合となりましたが、大きなトラブルもなく無事に大会は終了しました。運営に携わった方々には、本当に感謝・感謝です

今大会ベスト 4 は、**帝京長岡** (新潟)、**矢板中央** (栃木)、**青森山田** (青森)、**山梨学院** (山梨) と三校が昨年と同じ顔触れでしたが、決勝戦は、昨年もファイナルに進出した**青森山田高校**と、三年ぶりの選手権出場となった**山梨学院**とのカードになりました。これは神様のいたずらなのか奇しくも 11 年前と同じ対決です。前回は、山梨学院が **1-0** で**初優勝**を飾りましたが、今大会も最有力候補の青森山田高校は、昨年と 11 年前の雪辱を晴らすべくかなり気合が入っていたと思います。決勝戦までは、圧倒的な力で他を寄せ付けずに勝ち上がってきました。

決勝戦は、序盤から青森山田が相手ゴール前に迫りますが、キャプテンのGK**熊倉選手**中心に今大会屈指の守備力を誇る山梨学院が応戦します。先制点は、綺麗なカウンターから山梨学院がゴールを奪います。後半、地力に勝る青森山田がこちらにもキャプテン**藤原選手**、**得点王**の**安斎選手**のゴールなどで一度は逆転しましたが、粘る山梨学院も野田選手の技ありシュートで追いつき延長戦へ。ここではお互い無得点で終わり、勝負の行方は 8 大会ぶりのPK合戦に委ねられましたが、かつてのチームメイト安斎のPKを熊倉が止めるなど、今大会三回目のPK合戦をものにした山梨学院が **11 年ぶり二度目**の優勝を飾りました。

優勝した**長谷川監督**は就任二年目での快挙は素晴らしいですが、総監督でありサッカー部のアドバイザーでもある**横森功監督 (78)** や高体連サッカー部でユース年代の最高峰の大会で二度もチャンピオンに導いた青森山田高校の**黒田監督**の指導力はもちろんのこと、サッカーに対する情熱は私たち指導者も学ばなければなりません。そして、全国にはそういう熱い指導者方がたくさんいらっしゃいます。全て一朝一夕に成しえたものではなく、紆余曲折のご苦労を経て現在があるのです。今のご時世、「働き方改革」や「公立高校だから進学校だから限界がある、規制が強いから出来ない」という言い訳はしないで、片倉高校スタッフも多くの賢者たちに学びながら工夫して、常に前に突き進んでいきたいと思います。



< 第 99 回 高校サッカー選手権大会は、山梨学院が 11 年ぶり二度目の優勝!! >

### <After the Game>

2020 年がスタートしました。今年も一年間、片倉高校サッカー部の活動及び指導方針に、ご理解とご協力、そしてサポートを引き続き宜しくお願ひいたします。現在は、自主トレーニング期間となっています。まさに、**サッカーの神様**に試されているのです。